

**製品名:** エストロゲン受容体  $\alpha$  ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe85547

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 66 kDa; Observed MW: 66 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Estrogen Receptor alpha
別名	ESR1; Era; Eralpha; Estrogen receptor; Estradiol receptor; ER-alpha; Estrogen receptor 1; NR3A1; ER; ESR; ESRA; Estrogen receptor alpha
遺伝子 ID	2099.0
SwissProt ID	P03372
免疫原	ヒトエストロゲン受容体 $\alpha$ の合成ペプチド

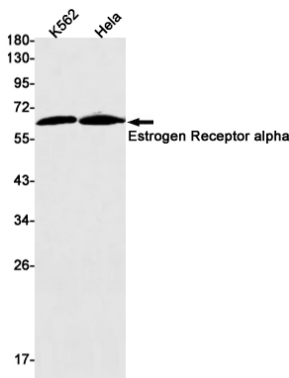
## 背景

ER (エストロゲン受容体1) はステロイド受容体スーパーファミリーに属し、高度に保存された DNA 結合ドメイン (DBD) とリガンド結合ドメイン (LBD) を有する。エストロゲン非依存性およびエストロゲン依存性活性化ドメイン (それぞれ AF-1 および AF-2) を介して、ER はコアクチベータータンパク質をリクルートし、転写機構全体と相互作用することで転写を制御する。リン酸化は ER 活性を制御する重要なメカニズムであり、ER は複数の部位でリン酸化される。

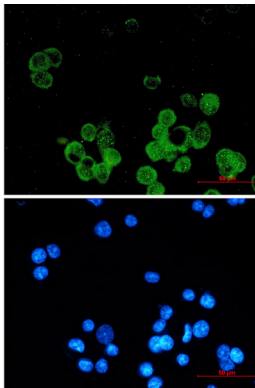
## 研究分野

-

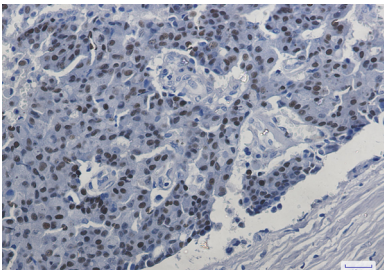
## 画像データ



エストロゲン受容体アルファ抗体を使用した、K562、Hela 溶解物中のエストロゲン受容体アルファのウエスタンブロット分析。



エストロゲン受容体  $\alpha$  抗体および DAPI (青) を用いた MCF-7 におけるエストロゲン受容体  $\alpha$  (緑) の免疫細胞化学分析



エストロゲン受容体アルファ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。